

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(1-116))」

2. 日時：令和4年3月17日(木) 13時30分～14時55分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室 (TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

津金主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、森野安全審査専門職

日本原燃株式会社 須藤 専務執行役員 再処理・MOX 設工認総括責任者

大柿 常務執行役員 再処理・MOX 燃料加工安全設計総括
他 11 名

九州電力株式会社 テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部

原子力土木建築部長

東京電力ホールディングス株式会社 原子燃料サイクル部

サイクル技術グループ グループマネージャー 他 1 名

関西電力株式会社 原子力事業本部 原子燃料部門

原燃計画グループリーダー 他 1 名

日本原子力発電株式会社 発電管理室

炉心・燃料サイクルグループリーダー

中国電力株式会社 電源事業本部 原子燃料サイクルグループ

副長 他 2 名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書 (令和2年

12月24日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更
の認可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000069.html

・ 令和4年2月24日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

・ 令和4年3月9日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、録音開始しました。
0:00:04	規制庁の竹田です。それではただいまから、日本原燃とのヒアリングを開始いたします。
0:00:10	本日のヒアリングは、令和2年12月に申請があった設工認申請につきまして、
0:00:16	耐震建物23の作成状況について確認をするものになります。
0:00:22	まず規制庁側の出席者を紹介いたします。本庁側出席者の紹介をお願いいたします。
0:00:29	はい。本庁会議室はハバサキとキシノになります。
0:00:35	はい、ありがとうございます。
0:00:37	ウェブでの参加が、ツガネカミデモリノタケダ以上になります。
0:00:45	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、議題の構成と、本日のヒアリング等達成目標について説明をお願いいたします。
0:00:56	4連年そんな会話でございます。本日の参加者のご紹介をいたします。
0:01:04	ストウ。
0:01:05	ムラヤマ。
0:01:07	オオガキ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:09	越。
0:01:10	長澤。
0:01:12	佐藤。
0:01:14	稲垣。
0:01:16	柘田。
0:01:17	カミダイラ。
0:01:19	イナヅマ。
0:01:21	ハラダ。
0:01:22	ヨーロッパ。
0:01:24	ナカハマ、これ空港会社さんから、九州電力様より、明石様。
0:01:31	キョウデン草野より、石本様。
0:01:35	関西電力様より、蒲池様。
0:01:39	院長となります。
0:01:40	本日のご説明差し上げる資料は、先ほどありました通り、耐震建物 23、
0:01:47	及びに基づきます、運転関係の対応方針についてですね、ご説明差し上げたいと思っています。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:01:57	よろしければ説明始めさせていただきたいんですけどもよろしいでしょうか。
0:02:05	はい。規制庁の竹田です。お願いいたします。本日は耐震建物 20 事実確認というよりかは作業状況とかそういったあたりで説明があるという認識でよろしいですか。
0:02:25	日本原燃東京から船越です。はい。作業状況とそれから耐震建物 23 を充実させていくにあたっての評価項目、主な評価項目等対応方針についてご説明したいと思います。以上です。
0:02:42	規制庁竹田です。はい。当間主事についてはわかりました。それでは説明の方お願いいたします。
0:02:50	はい。日本原燃東京から船越です。まず冒頭本日の石津経営簡単にご説明いたしたいと思います。先日、2月28日の審査会合を経まして、
0:03:03	耐震建物を 23、補足説明資料の充実を図っているところであります。
0:03:09	充実の観点といたしましては、主に三つありまして、一つは、審査会合でいただいたご指摘を踏まえた内容についての充実。
0:03:21	それから、それ以外にもですね、この際、日本原燃社内及び電力の方たとのブレンストーミングをやっておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:34	補足説明資料 23 全般にわたって、不足している内容について、論点洗い出しまして、それについて充実を図るという内容。
0:03:47	内容面ではこの二つ、加えてですね、この際ちょっと構成を進め資料 23 が 600 ページを超える資料になっておりまして、
0:03:58	構成が少しわかりにくいと申しますか、重複して書かれている、
0:04:06	ところもあるなどですね、ございましたので、体系をこの際、組み立て少し変えることも含めて整理をしているところでございます。
0:04:16	このうち本日は、内容面でですね、
0:04:21	瀬、
0:04:22	いつの会合の項目。
0:04:25	と、それから社内においてリストアップした表、充実の項目、それに対する対応方針について。
0:04:34	2 枚もので、
0:04:37	合成ご提出させていただいておりますものについてですね、その中で特に、やっぱり技術的な論点である
0:04:47	審査会合でご指摘を受けた事項についての対応方針のについて、
0:04:52	ご説明をさせていただきたいと思っております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:56	では、説明の方は、ハラダの方からいたします。
0:05:02	はい、日本原燃の原田でございます。越しましたら、
0:05:07	資料の3のタイトル飛来物防護ネット確保の耐震評価に係る論点整理と 対応方針、2枚ものの資料ですが、こちらに基づいて、
0:05:18	あとそれから該当するページ。
0:05:22	補足説明資料の方も、該当するページを申し上げますので、その辺に書 いてますよということの紹介も踏まえながら、
0:05:32	それと黄色のハッチングがかかった部分について、プロジェクトのよう な作業をやっていくかっていうのをご説明いたします。
0:05:42	まずですね黄色のハッチングの1番目ですね、ナンバー14番になりま す。目的。
0:05:48	分類が設計モデル規格を鉛直ほどございますけれども。
0:05:53	こちらの方でございますが、補足説明資料の該当ページは、193ページ 目になります。
0:06:03	ここで、何を述べていたかと申しますと、屋根部の鉛直加速度ですね、 こちらの方が設計モデルで比率が小さくなると。
0:06:14	いう話がございますけれども、その要因として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:18	波の非対称性及び周期特性ですね。
0:06:23	推定してますよと。
0:06:26	うん。件につきまして、江藤、これまでに述べているのはSSCは各中期SSC判断の付託奥山の、
0:06:38	周期待を持つ属性ございますけれども、
0:06:40	こちらの集北井、0.42 病棟、あと 0.25 秒付近で、
0:06:48	整理は使って分析して述べていましたけれども、
0:06:52	その二つだけでは、なかなか論点、
0:06:55	本当にそうなのかというところが、
0:06:58	ちょっと説明不十分かなと思いましたので、
0:07:02	今ですね、さらに周期対応、もう一つ追加して、
0:07:06	江藤SS手腕の卓越周期から外れた 0.1 秒付近ですね、こちらの方を追加しまして、制限はによる分析を、
0:07:15	追加して、どうなるかというのを確認いたしました。それを説明資料に追加する作業を行ってます。
0:07:24	結論としましてはやはり

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:26	主期待を外れてもですね、波の非対称性と、あと周期特性っていうんですかね。
0:07:34	そちらのやっぱり寄与により、鉛直加速度にちょっと効いてくるなど。
0:07:40	というのがわかりましたので、
0:07:42	そういったのも含めてですね、補足説明に記載したと。
0:07:47	いう作業を行っているところです。
0:07:50	これがNo.14 でございます。
0:07:54	そうですね。続いても全部説明しちゃいますけど、どうもよろしいでしょうか。続きましてナンバー17 番ですね、黄色ハッチング、こちらが設計モデル。
0:08:04	地盤の構成変化についてのところです。
0:08:08	補足説明資料で言いますと、156 ページあたりから 170 ページにつけて、
0:08:16	ごめんなさい。間違えました補足説明資料で言いますと、213 ページあたり。
0:08:23	に記載している項目でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:27	こちらはですね、町字加古菜の層せん断力、付加曲げであったり屋根部の鉛直加速度等についてですね。
0:08:37	検診
0:08:41	設計モデルを用いて、いろいろ検討していたんですけども。
0:08:46	検証モデルを用いた時も本当にそうなのかというところを、追加解析して、
0:08:53	ベルコ作業をやっているということでございます。
0:08:59	それぞれですね検証モデルを用いて先ほどの総せん断力とか付加曲げ、そういったところの応答値であったり、あと応答スペクトル、それから時刻歴、
0:09:10	そんなものを確認を追加いたしました。
0:09:15	結論としましては継承モデルも、設計メートルもう、
0:09:21	同じような傾向を示してい。
0:09:25	いるなというところが確認できたところでございます。その辺の考察を追加してございます。
0:09:31	続きまして 19 番ですね。
0:09:33	設計モデルの学校として検証モデルとの比較。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:39	という、作業してます。こちらは補足説明資料で、20 ページ辺りの記述。
0:09:47	でございます。
0:09:49	こちらはですね屋根部の鉛直加速度ですね。
0:09:55	前回、休みたあのグラフは載せていたんですけども、その結果の分析が、
0:10:02	非常に不足してるという課題でございます。
0:10:07	それに対しましては、松井さん、追加の工作を考察置き記載いたしました。
0:10:14	具体的には、
0:10:16	大きく3点ございまして、
0:10:18	一つは検証モデル。
0:10:21	に対して設計モデルが屋根部の鉛直加速度を小さく、
0:10:26	評価するっていうことに関しまして、
0:10:28	結果的に現場で並べてみても、大きく影響する波はやはりSSC湾だけであったという考察を追加してございます。それが一つ目。
0:10:40	それから、二つ目としまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:43	N S D 食べるための比較ではほとんど同等ではあるんですけども、やはり若干周辺構造物の相違、
0:10:53	があるなど。
0:10:55	若干 N S 断面の方が屋根部の鉛直加速度小さく出る傾向にありますと。
0:11:02	いう、考察を追記してございます。
0:11:06	それから三つ目としましては、設計モデル検証モデル、すいません。1課はい。
0:11:13	すいません。規制庁深見です。途中ですみません。
0:11:16	今、追記していますみたいな話があったんですけどそれは、今表示されてるのは、会合前の資料だから、そういうところが不足していて、
0:11:29	今皆さんが作業してる。
0:11:31	ただ、作業途中のものにはそういうところが追記してますよっていうことでいいんですかね。
0:11:38	はい。日本原燃羽田です。その通りでございます。
0:11:41	努力申し訳ないんですが口頭でちょっと。
0:11:44	べらべらと紹介しているといったところですよ。すいません。はい。
0:11:49	はい。規制庁深見です。わかりました。続けてください。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:54	3点目としましては、設計用モデルと検証モデル、部材評価の結果を比較しまして、
0:12:01	総合的な評価としては保守性が確保できるという考察を追記しております。
0:12:09	これが三つ目のNo.19のところですね。
0:12:14	続きましてナンバー21のところですね。これは第二部ですね耐震評価部材評価のところでございます。
0:12:22	補足説明資料で言いますと、90ページ目が概況いたします。
0:12:29	現状
0:12:30	部材評価結果が数値のみ、
0:12:33	の記載で、決定し、1、伊方、いいですし、証拠、そのぐらいのことしか書いてないんですけれども。
0:12:41	今回、今回今、作業しておりますのは、それだけじゃなくてですね、設計モデルの特徴を踏まえて、
0:12:52	鉛直構造による影響が大きい特に屋根ですね、その辺の最大検定比の余裕がどうなんだと。
0:13:00	いったところも、考察に加えて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:03	単に数字だけじゃなくてですね、これも設計モデルの特徴を踏まえてもこうなりますといったような考察を追記追加しております。
0:13:14	はい。続きまして最後になりますけど、22番ですね、耐震評価の解析条件のところでございます。
0:13:22	こちらにつきましては、補足説明資料の253ページ以降が該当いたします。
0:13:30	ばらつき評価に使ってる波の話ですね。
0:13:34	こちらはですね、
0:13:39	今、
0:13:40	どうしてSSC版と、正式版以外、
0:13:44	の二つを選定しているかという、妥当性検証不足してございましたが、
0:13:49	それに対しまして、いくつかこのSSCは以外の代表かというところも少し波をばらしてみてもですね。
0:14:00	ばらつきを見てみて、
0:14:02	ばらつきキー
0:14:05	の、
0:14:06	見た結果順位付け。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:09	大小関係って言いますかね、その大小関係が、ばらつきがある場合もない場合も、大小関係というのが変わらないというのを確認してございます。
0:14:20	その確認結果っていうのを、現在資料に反映しているところだと。
0:14:26	いうところでございます。
0:14:29	はい。ちょっと説明の方は以上になります。
0:14:36	規制庁の武田です。ありがとうございます。
0:14:39	それでは、ここまでの説明を受けまして規制庁側から事実確認がありましたらお願いいたします。
0:14:49	規制庁上出です。私の方からちょっと全般的に日程のほど、
0:14:55	確認します。
0:14:58	冒頭、説明あったんですけど耐震建物 23 の構成っていうのん、わかりやすく変えられるっていうことで、
0:15:08	少しというような修飾も入ってたと思いますけど。
0:15:14	読んでも側としては、かなり読みにくいし、いろんな情報があちこちあるので、かなりドラスティックに変えていただいて、
0:15:24	いいと思ってます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:26	ただ
0:15:28	これまで、かなり大部の資料を何とか見てきたところもあるので、前後表というかですね項目の対応表、前回 R11 だとここに書いてたものが、
0:15:41	R12 だとここに入ってますみたいなものの対応表みたいなものもつけてもらえると、ありがたいなっていうことなんですけどその辺は対応できますか。
0:15:54	はい。日本原燃原田でございます。ですね、
0:15:59	今紹介いただいた通りですねかなりドラスティックに変えています。
0:16:06	のでちょっと対応表を作るにあたって、かなりドラスティックに変わっちゃったんで悩むところではございますが、
0:16:14	ですね、
0:16:17	現状建物 23、別紙。
0:16:21	1-1 があってそこに別添というのがぶら下がるような構成してございませけれども。
0:16:28	まずその単位ですね、見直し前は、
0:16:34	別添 1 に、こんなこと書いてました。そういう意味で、こんなことを書いてましたと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:39	いうのに対して、今回は、
0:16:42	それがどこに行ったんだと。
0:16:44	いうレベルであれば整理なのかなと思っていますけれども、そんなイメージでいかがでしょうか。
0:16:53	規制庁上出です。そうするに、
0:16:57	今の別添2が、今度の参考1になりましたとか、
0:17:02	あんまりそこまでの対応関係だと、簡単に表で整理をできるか、そうではなくて、結構この部分の別添2の中のこのエッセンスがこっち。
0:17:13	あれがこっちみたいな感じになってるのかなと想像します。そういう、
0:17:19	意味だと表だけ見てもよくわからないので、もうちょっと全体的な、
0:17:25	整理の考え方、要は評価条件については、別添123とかにあったものを評価条件部分として、
0:17:36	今度は別添1にまとめましたとかそういった形の概念的なところでも、 いいかと思いますその辺は
0:17:47	実際作業されて、なるべく伝わりやすいように、かつ、めちゃめちゃその対応表だけで何ページにも渡るような、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:58	温度出されてもっていう気はしますので、シンプルにわかりやすく、あまり大変じゃない範囲で対応いただければと思いますけど、そんな感じで伝わりますか。
0:18:11	うん。
0:18:12	はい。日本原燃、原田です。
0:18:14	そうですね。おっしゃらないよう理解いたしました。それで兼任の単位だけじゃなくて、もうちょっとその中身として何が書いてあるかっていうレベルまで一番一段下げてですね。
0:18:28	その中身が新しいところの、
0:18:32	どこに行ってるかっていうのをわかるように整理したいと思います。例えばですね
0:18:38	旧来の別紙1の1っていう中には、
0:18:42	かなり座屈拘束ブレスの話も入っているし40学校の話も入ってるし、基礎張りの話も入ってるし、国の話も入ってると。
0:18:51	そういった剛性になってございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:54	それを、今見直してるのは、そういった座屈コウソクブレースなるサックス姑息ブレスひとまとめにしてあげましょうと。知事加古 S10 にしてやりましょうと。
0:19:05	そういうまとめ方してありますので、そういった単位で何がどこに行っただかというのをわかりやすく、ちょっと整理したものを用意したいと思います。
0:19:14	以上です。
0:19:16	はい、規制庁カミデです。
0:19:19	そういうことだと、
0:19:22	その、今作ってる R12 の構成コンセプトみたいなものの説明があって、
0:19:30	その補足情報として前回 R11 だと高校に入ってた内容がありますって感じになったとした。
0:19:39	そうだと、例えば別紙 1 で、全般を呑んをまず述べて、
0:19:46	その 1 ポツに関する部分を、
0:19:49	別添にあります 2 ポツの部分か別添 3 ですみたいな感じで、整理してるのかとも想像しましたって、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:00	その辺は実態に合わせてだと思えますけど、全体のここですね市示して そのうちの、
0:20:08	大事に順番に後ろに並べてますみたいな話だとこちらも話が入りやすい のかなって気はしますので、その辺は工夫いただければと思いま す。
0:20:22	はい。日本原燃原田です。承知いたしました。協議いたします。
0:20:29	はい。規制庁カミデです。あともう1点気になってるところは今回2枚 紙ですかね
0:20:37	リストが出てきてますけど、
0:20:40	このリスト動向、
0:20:42	今後どうこうするっていうことは全くしなくていいと思ってますが、
0:20:46	読んでて気になるのか、
0:20:50	やっていなかった作業、これまでこういう作業をしてませんでしたこう いうことを示してませんでしたということに対して、
0:20:59	対応方針においても、こういう作業をします、これを示しますっていう ことを書かれているなあという印象ですね。
0:21:11	問題意識としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:13	単純にす。
0:21:16	作業 T S 航空だけ。
0:21:18	見てしまうのではなくて、何でこの作業が必要なのか、全体のロジックの中のこの部分を補強するためにこの作業があるので、
0:21:28	それを解消するためにこういう作業するんだっていうところを意識して、資料を作り込んでもらわないと。
0:21:37	今までよく伝えていたと思いますけど何かパッチワーク的な対応とかです ね、
0:21:45	いうコメントに繋がりがねないなと思って懸念はしています。
0:21:51	今日、口頭で説明されたところでは幾つかそういうところも入っていたので、
0:21:58	全く意識してないとは思っていませんけども、その辺りは常に念頭に置いてですね、作業しないと、デッキバース最後にできたときに、
0:22:12	結局何か繋がりがよく見えないかっていう言葉になりかねない。
0:22:17	ので、その辺 Q をつけていただければと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:23	はい。日本の荒田でございます。はい。その辺も十分留意した上で対応を図らなければと思っているところです。今日授業 12 枚ものですね。
0:22:34	そういった点もあれば、或いは
0:22:38	最初の 1 から 4 に書いてあるようなやつは非常に、何ていうんすかね、もうちょっと用語を整理してとか、単純なものも含めて、示されてしまいましたけれども。
0:22:50	趣旨はですねやっぱり説明不足であったり、あと何ていうんですかね、仮説を立てただけでしっかり検証しきれていなかった。
0:23:00	ところ、そこを補強することだと考えておりますので、そこ忘れずにしっかり対応を図りたいと思います。以上です。
0:23:11	はい、規制庁カミデですよろしく申し上げます。とりあえず私の方からは以上です。
0:23:20	規制庁の岸野です。
0:23:23	ご説明いただいた対応方針、
0:23:26	審査会合での指摘を踏まえた、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:31	反映がどこまでされているのかちょっと確認とれてないところもありますので、そういった点を何点か教えてください。
0:23:39	まずう
0:23:41	黄色ハッチングされたところを中心に説明いただきましたけど、
0:23:45	14 番の中ですね。
0:23:49	真ん中の列ですか、非対称性については検証解析を実施していたがという記載があります。
0:23:58	当審査会后、2 月末の審査会合のときは、改正追加解析を実施しているみたいけど傾向をとらえた程度と認識しているという。
0:24:08	形ですね、指摘をしたように、さらに掘り下げた説明も必要ではないか、まだ検討の余地があるのではないかというような、
0:24:19	ことをしてきておりますが、先ほどご説明のあった対応方針っていうのは、そういった意味で、さらに、
0:24:28	傾向の、
0:24:31	をとらえる精度を高めるとかですね、そういった睨んなんだ深掘りをするという趣旨で実施されるという理解でよろしいでしょうか。
0:24:54	日本原燃の船越です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:57	ですね
0:24:58	この対応ではですね、
0:25:02	非対称性等、周期特性と両方が、SSCはんでこのような結果が出た要因として考えられると対応資料では、
0:25:16	うたっておる、おりながらですね、非対称性については、参考資料の中で、
0:25:27	をですね、提言は一による分析結果を加えてされていたわけなんです が、周期特性については、ちょっとそのようなものが、
0:25:38	ありませんでしたので、今こちらでやってますのは周期特性の仮説に対しても、ここで言ってることが、裏付けられるカーの、
0:25:48	パラスターを制限を基に行っておりますという部分で、追加解析を行い分関井仮説を裏付けたいという対応を行って、
0:26:02	おります。
0:26:05	以上です。
0:26:06	瀬崎委員。はい、わかりました。ちょっと私の質問が漠然としてしまっ てご回答に困ってる感じもあったかと思えます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:14	野口さんのご説明で理解しましたさらに掘り下げた説明という形で今検討をされているというふうに理解しましたので、この点については
0:26:24	いたしました。
0:26:26	続きましてですね、
0:26:34	21 番の方では、
0:26:36	対応方針、一番右端の対応方針の方で、
0:26:41	第一部で確認された設計モデルの特徴を踏まえた考察をすると、いうことが書かれているんですけども。
0:26:52	審査会合の時 2、お伝えした内容として、設計モデルの特性、調子聴取探傷、
0:27:02	いや、地震特性、
0:27:07	等も考慮して結果の考察が必要ではないかというようなことを
0:27:13	しております。
0:27:16	まず、これらというのは前回の審査会合資料で言うところの第 1 部ですかね。
0:27:23	で、設計モデルの妥当性保守性の検証等を行っているところの、結論として、設計モデルの。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:32	特性、こういった調書にこういった参照があるといったものですか、 或いは地震特性、地震によっては応答のあらかた1が出てくるで すか、
0:27:44	そういったことを整理した上で、次の具体的な設計つもり波及的影響 評価につなげる、第二部につなげるということになるのかなと思うん です が。
0:27:56	まずちょっと第1部の内容にも変わりますが第1部の方では、このよ うに設計モデルの特性や地震特性っていったものを、一旦整理をした上 で第二部につなげるというような、
0:28:09	展開っていうのを検討はされていますでしょうか。
0:28:24	どうぞ。九州電力の赤津でございます。今ご指摘の点、
0:28:31	まずやってる実態からご説明しますと、ナンバー21の真ん中の列、設計 モデルの特徴屋根部の鉛直挙動方と書いてますけどもこの島って何かと いうとまさに波の特徴特性でありましたり、
0:28:48	第一部で我々がわかったこと、それを踏まえて、結果がそうなるよ ね、あれってということが起きてないよねということの一つ一つ、ちょっ と様々な角度で整理をしながら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:01	確認していってると。すみませんここまで i n g のところでございます て、いろいろ気づき事項をみんなで議論をしながら放り込んでいるとい う状況でございます。
0:29:12	今岸野さんからご指摘いただいた、そもそも第1部でわかったことをま ずまとめるということ。すみません実態としてはそこまで綺麗に整理。
0:29:22	できてないっていうのが正直なところでございますが、今ご指摘をいた だいたところでの今更ながらの気づきではありますけども確かにそうい う整理をした上で、どうなのという第二部での確認。
0:29:35	あるべきだと思いましたので、今の気づきを持って我々さらにブラッシ ュアップができればと考えます。以上でございます。
0:29:43	すみません大柿ですけれどもそういった意味ですと第一部における、 我々の設計モデルに関するさらなる考察チームでは、この
0:29:56	今日ご説明してるし、ナンバー19。
0:30:00	19で、検証もずっと比較のことを書いておりますけどこの中で、
0:30:08	家設計モデルと気象モデル比較することによってですねその設計もモデ ルの特徴をさらに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:13	金社長を深めるという形では、第1の中で、考察を追加するようにしております。
0:30:21	今今ご指摘受けたことも踏まえてもう1回ちょっとこの部分について確認をしますけれども、一応第1部の中でも我々としてはそういう取り組みをしているということをちょっと申し添えたいと思います。以上です。
0:30:36	成長のキシノですはい御説明わかりました。
0:30:41	その第一部でわかったこと、モデルの特性や地震特性っていうのを念頭に置いて考察を進めるということで、おそらく、
0:30:51	認識はそんなに外れてなかったのだと思いますけれども、第1部の成果といえますか、或いはられた教訓というものを一旦まとめてですね。
0:31:02	で、それを考察とか、或いは第二部のその設計の方針の策定につなげるというあたりが、そのロジックの繋がりとしては
0:31:11	多分繋がりがよくなるのではないかなと思いますので、先ほど明石さんもおっしゃったようにですねちょっとそれを念頭に置いた形で、説明の構成を考えていただければと思います。
0:31:24	趣旨の方はよろしいでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:30	はい脇です。はい、了解いたしました。
0:31:33	はい。
0:31:34	お願いいたします。
0:31:37	それですね、ちょっと私椎野言葉の中に第1部でられた教訓というよ うな言葉を入れてしまったんですけれども。
0:31:47	これは想像の中での話、私はあくまでイメージとして聞いていただけ ばいいんですけれども、今回、
0:31:57	第1部の方で、いろいろな傾向分析や、その傾向が現れた原因。
0:32:03	なんかも考察されていると思いますが、その上でも、設計モデルを用い た設計をする上で、影響は少ないというような。
0:32:14	考え方につなげているんだと思いますし、もし、
0:32:20	影響が完全に無視できない場合は、この設計モデルを、
0:32:24	設計に用いることができる範囲ですとか、適用条件等があるのであれば それを導き出して第2につなげるというようなことかなと。
0:32:35	そのような想像しておりました。第1部のまとめ方というのは、私はそ のような認識でおったんですけれども、事業者もそういったことを念頭 に置いて今整理を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:47	進めているという理解でよろしいでしょうか。
0:32:52	進めるもしくはこれから進めるという理解でよろしいでしょうか。
0:32:58	九州電力の明石でございます今の岸野さんのご指摘ちょっと。
0:33:03	ご質問といたしますか、まさに我々、この4B今回の対象施設限定で、使える、厚使える設計モデルを構築し使えるんだということを検証確認をして、
0:33:21	用いてるわけなんですけども、そこがちょっと適用できる範囲とかこういう場合はとかいう、ちょっと一般化できるようなところまで整理しようとする、
0:33:34	ちょっと話として広がってきてしまうなと思う。
0:33:38	丹ですけども、今のご意見、はい。明石さん。
0:33:43	お考え良くわかりますすいません私あまり一般化についても触れるようにという示唆するような、誤解を与えること言ってしまったかなと思います。
0:33:53	明石さんご懸念のように、一般化についての考察を求めるものではございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:59	今回の設計モデルを用いて、4Dの設計波及的影響評価に用いているわけですが、
0:34:10	波及的影響評価を行う確認項目ですとか、地震動ですとか、そういったものに
0:34:21	このS sに対して使うときはちょっと注意をしなければいけないとかです、極端な話この断面方向についてはこの設計モデルは使えないといった、あくまで4Bの範囲の中で、
0:34:32	何らかの制約ないし適用条件というものがもしあるのであれば、そういったことを明確にした上で、第二部の4Bの波及的影響評価につなげる。
0:34:45	ということが考えるものではない趣旨でお伝えしたもので、前年度以外の方に広げるという趣旨ではございません。すいません議題の方をいたしましたけどご理解いただけましたでしょうか。
0:34:58	はい研修計画の明石でございます。ご指摘のご趣旨理解いたしました。まさに先ほど岸野さんが教訓という単語が使われたところなんだというふうにご理解いたしましたけども。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:10	今回まさに我々が設計モデルの適用にあたって、いやいやここ大丈夫とかこういうことがあるから、こういう確認しなきゃいけないよねってのはまさに注意してたところ留意していったところ、
0:35:23	そういうところがちゃんと見えるように整理するということだと、いうふうに理解いたしましたので、ちょっとすいませんそこが今耐震建物 23 年度整理されてると渡したと。
0:35:34	これまで出てきませんけども何がしかそこはちょっと見える化できるように努めたいと思います。以上でございます。
0:35:41	規制庁の岸野です。はい。趣旨が伝わったかなと思います。それは今日、第一部の
0:35:50	分析考察、その妥当性、保守性の考察をした結果ですね、そんなに設計持ち込む上でももちろん適用制約条件とか適用範囲とか限定されないというようなこと。
0:36:02	今なるかもしれませんので、それはそれでですね、そういった考え方をちゃんと説明していただければいいのかなと思いますので必ず何かをひねり出してくださいという意味でもありません。
0:36:12	そういったことまで検討した上で、第二部に進んでいただければという趣旨になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:17	よろしいでしょうか。
0:36:20	排液連絡なんか紙です承知いたしました。はい。よろしくお願ひします。衛藤。
0:36:27	ちょっと続けますと、この 21 番の対応方針の中で、
0:36:34	部材設計の検定値の決定ケースに対してというふうに書いておられて、検定値を決定したケースだけを、最終に検討することが適切なのかというのは、ちょっと現時点では、
0:36:49	具体的なものが何もないので、何とも言いようがないのですが、
0:36:54	この点については、この、
0:36:57	検定値の決定ケースに対して、検討を行うことの妥当性もあわせて今後説明がされるという理解でよろしいですか。
0:37:09	はい。部分は私、そのような理解で、取っていただければと思います。具体的に言いますと C S C ワンデーに斜め N S 方向が、
0:37:20	大きかったですっていう結論だけを述べていますけれども、なんでそれでいいんだっていう考察を書き加えて、もう少し詳しく述べると、そういった作業をしているところがございますので、
0:37:34	そういうふうに書いていただければと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:39	規制庁の橘田です。はい。ご説明わかりました。
0:37:44	続きまして、ナンバー22。
0:37:46	なんですけれども、
0:37:49	これはもう真ん中の列ですね、
0:37:54	妥当性検証が不足していたと。
0:37:56	書いてありまして、対応方針の方には、
0:38:00	評価結果について大小環境を取得して確認するといったことが書かれています。
0:38:08	これも先ほどの第1部の考察出られた教訓なり、知見なりをどう生かすのかという話も関係するかと思いますけれども、
0:38:21	この後追いでですね、
0:38:25	設定した方針が正しかったかっていう継承するというのももちろん重要かと思いますけれども。
0:38:32	第1部のその検証の結果を踏まえて、
0:38:35	設計方針をどう保守的に設定するのかという考え方をまず第二部の最初の方で、示すのことが、順番としては先ではないかなと考えるんですけれども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:47	この点いかがお考えでしょうか。
0:38:56	本当にハラダですけど、すみません岸野さん、ちょっと今のご質問理解がちょっと追いついていないのでもう1回お願いできますか。はい。すみません。
0:39:08	えっとですね、22番の対応方針で示されているのは、
0:39:13	選定版のばらつき評価結果について、
0:39:19	問題なかったか、選定が問題なかったかを確認するという、
0:39:25	御説明かと思います。
0:39:27	このようにやった後ですね、後追いで検証するっていうやり方ももちろんありだと思いますし、否定するものじゃないんですけども、第一部で導かれた
0:39:40	教訓といいますか、知見なりを、第二課数にあたって、例えばですね、
0:39:51	今やろうとしたんですすみません。
0:39:55	すみません。
0:39:57	はい規制庁カミデです。すみませんちょっと説明されてるところ、ちょっとノイズが入ってる様、あれですかね。
0:40:08	中国電力、黒田さんとかがマイクオンになってるみたいですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:14	村長がデメリットにできるんだったら、
0:40:20	はい。今見ことにしました。
0:40:25	はい。水嶋下。
0:40:27	はい、すみませんありがとうございます。
0:40:30	はい、ありがとうございますすみません気づきませんでした。
0:40:35	続けさせていただきます。
0:40:39	すみません。ちょっと話が冗長になってしまいましたけれども、例えば ですね、
0:40:45	1例といいますか、イメージになるかと思えますけれども、第一部の結果、
0:40:50	を踏まえるとですね、例えばばらつきケースに使う S_s は標準ケース応答が最大となる S_s だけじゃなくて、
0:41:01	応答値が近い S_s も計数率いただけるってようなこともあり得るのかなと。
0:41:07	例えば地震特性が応答の大小関係に影響しているわけですからそういったことを考慮すると、対象選定する S_s を幅広にするですとか、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:16	<p>或いは地盤の剛性変化の応答に与える影響を踏まえると、地盤の剛性がプラスワンシグマ、或いはエスワンシューマーに近づくほど応答が大きくなるような確認項目については、</p>
0:41:28	<p>デンス幅広に設定するとかですね、これ</p>
0:41:32	<p>イメージでしゃべっていますので、適切でなければそれは暗記しなさい、結構なんです、そういった第1部の分析考察を踏まえると、第二部の補設計方針において講演、</p>
0:41:45	<p>やり方が保守的な方法としてこういったものが抽出できるといったものが、</p>
0:41:51	<p>あるのではないかなとイメージしたのですが、</p>
0:41:54	<p>要は、後追いで検証するだけじゃなくてですね、まず最初の第二部の設計条件の設定段階においてその第1部の結果を踏まえた保守的な設定といったものは、考えられないのでしょうかという、</p>
0:42:07	<p>趣旨で質問したものです。ちょっとわかりにくくてすみませんでした、ご理解いただけましたでしょうか。</p>
0:42:25	<p>九州電力の明石でございます。ご指摘の趣旨は理解いたしましたが、そもそもこの評価ケース、ナンバー22の、</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:37	左側の方の列に書いております通り、SSCワンとSCは以外の代表は ということで
0:42:47	選定をして、評価をしております、それはすいませんちょっとぱっと しゃべるべらべらしゃべれませんけども第1部の方で、
0:42:57	評価の考え方として整理をした上で、こういう選定をしてるというもの でございますんで、そういう考え方をしてたけども、結果がそれについ てきてるかっていうことを、
0:43:10	第二部の方での意見と考察として、確認しようとしてるものでございま すので、今イメージとして岸野さん対象の施設を幅広にする或いは
0:43:24	±しCIGMAに関して適用範囲は避難するとか例えばというふうにお っしゃられましたけども、その幅広にするというかその辺の前段の整理 をもって、
0:43:35	第1部で選定したものをそれがちゃんと計画ついてきてるよねっていう 確認をしておりますので、すいませんそれがそもそも今はっきり見える ような形になってないというのが問題なのかもしれませんが。
0:43:47	第1の上の整理をもってやっておりますのでちょっとそういうふうにご 理解いただければと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:55	以上でございます。はい、わかりました。
0:43:58	私第1部で獲られた、
0:44:04	傾向ですとか、その分析考察した結果から、例えばそのようなことが考えられるのかなということで想像でお話しをしましたけれども。
0:44:14	おそらく、そういったことまで踏み込まなくても、S sのC値と、それ以外の最大応答はですか。
0:44:24	をしておけば、そういった懸念は、全部もう包含された保守的な設定ができる、おそらくそう考えているという説明が、
0:44:34	だと思いますし、今後そういう説明がなされると。
0:44:38	理解いたしました。で、その上で本当にそうなっているかを念のため検証するという趣旨で先ほど応答の大小関係を後から確認。
0:44:50	そして裏を取るというようなことかと思いましたので、そのような考え方の流れをですね、きちんと説明をしていただいて、その後追いといたしますか。
0:45:02	22番の対応方針に書いてある、検討というのがどういう位置付けでやるものかということも、明確にして説明をしていただければと思います。
0:45:14	認識の方は合ってますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:19	はい。九州電力の明石でございます。ご指摘の趣旨理解いたしました。 確かに現状、例えば今SSのC案とSの手腕以外、飯野代表はいや、ということのみでなんでそうするのっていう考え方のところは行き通りの説明が、
0:45:35	不足してるところがあるかなというふうには認識しておりますのでそこをしっかりと説明した上で、じゃあ、そうなのってのを第二部で確認するんですよっていう流れが、
0:45:48	理解できるようにそこはちょっと改めて確認をしながらブラッシュアップしたいと思います。以上でございます。
0:45:54	規制庁の千野です。はい。よろしく申し上げます。
0:45:58	同じく22番になるんですけれども。
0:46:03	こちらで述べているのは1000、
0:46:06	ていうのは、地盤剛性のばらつき評価の代表はについてこういった形で検証しますということでした、2月の審査会合の指摘で、
0:46:17	例えばという形でお伝えしたことに対応するものなのかなと、理解しています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:24	会合で例示した、この S s の選定方針に、ちょっと限定した対応方針のように思えるのですが。
0:46:33	保守的な設計を行うために、検討すべき他の設計方針、
0:46:40	S s の選定だけではなくて例えば確認する項目ですとか評価部位ですとか、
0:46:46	或いは条件によっては別の断面方向を確認するとか、そういったことでののは、必要。
0:46:53	ないのでしょうか。先ほど、 S S C とそれ以外に選定するに至ったというお考えをご説明いただきましたけど、それ以外のその設計に反映すべき方針についても、
0:47:07	そこまで広げる必要はないというふうに判断した上で、 S s の選定について、今回対応方針を示したのか、その辺り確認をされているのか、教えていただけますか。
0:47:38	日本原燃の船越です。
0:47:41	土肥衛藤キシノさんのご指摘にちょっとこれ、直接答えられてるかどうかなんですけれども、
0:47:50	表の中のですね、1 ページ目の方のナンバー5。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:55	2 ですね。
0:47:56	今設計モデルの妥当性や保守性検証における解析条件の根拠について、
0:48:05	論理構成が一、まだ弱いというか明確でなかった部分があったので、例えば、これらを台これらで有効力解析で代表してるとか代表断面こうしてる。
0:48:19	用いる自身はこれを使って検討しているということについては、
0:48:23	そういう、
0:48:24	論理構成をわかりやすくするとともにですね、それを選定した理由やモデル構築の考え方等について論理立てて説明するという対応は今、
0:48:37	行おうとしております。
0:48:40	ところをこのようなお出資の後、今、
0:48:45	ご指摘、
0:48:47	でしょうか。
0:48:48	規制庁の内野です。えっとですね 5 番で述べているのは、第一部の中でその検証を行う条件等についてのことだと思えますけれども、
0:48:59	私が先ほど申し上げましたのは第一部の結果を受けて、第二部、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:04	つまり、波及的影響評価を行う設計方針として、S sの選定方針以外にも、何かないんですか、そういったことは確認されていますかという趣旨。
0:49:17	になりますので、その点でもう一度お答えいただけますでしょうか。
0:49:26	だから、すごい長いですよ。吉谷明石金城君の方からね、設計の妥当性みたいな。
0:49:33	改めて宮野って今まで、
0:49:35	おっしゃると思うんだけど、例えば第1部の中ですべて条件は、むしろ保守的な前提はわかってるんですがそのまま使いました。
0:49:44	というのが、
0:49:48	あるんだ、これ設定しなきゃいけないものなのかな。
0:49:53	はい。
0:49:56	得意か。九州電力の赤津でございますすいませんちょっと回答に時間を要して申し訳ございません。ちょっと回答に時間を要するところでちょっとご推察されているかと思えますけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:08	ちょっと明確に我々今、現在そういう整理ができてるかっていうと、 というのはちょっと正直なところでございます。おっしゃる通り施設の選 定だけではなくって第二部の評価方針として、
0:50:21	立ててるものはありますので、本当にそうだったよねという確認をすべ き項目はあると思います。最後提出を約束してる日日にちまで
0:50:33	時間があるようでないようでというところではございますけども、ちょ っと改めて今ご指摘を踏まえた面をもってちょっと再整理をちょっとや りたいと思います。以上でございます。
0:50:47	所長の木野です。はい。ありがとうございます。今ですね、ご回答いた だくまでの間のそちらの悩んでるらしい声がちょっと聞こえてきたんで すけれども、ちょっと認識のずれがあるかもしれないなっていう
0:51:01	そもそもがですね、第二部に用いている設計モデルの条件についての説 明が、
0:51:08	多分、今までの資料の中にほとんどなくてですね。
0:51:11	どういう第1部で妥当と思っ
0:51:15	判断された設計モデルなんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:18	それを第二部に使ってると思うんですけどそのライニングで使ってる設計モデルについての改めての説明がまずなくて、
0:51:26	こういった設計を、モデルを使って設計を代理店を行っていきます。
0:51:32	といった説明と、進め方としてまずは、基本ケースで全廃やってみて、N S E W方向ですかね。
0:51:43	そのうち、S sの指示や応答最大となるS sを選定してる須江さん、物性ばらつきケースに持ち込みますって言ったような流れの説明も多分今までされてないと思います。
0:51:56	なのでそこら辺が、まず説明がないままに、第1部からの流れのまま、第二部に来ていて、第1部の何を説明すればいいんだらうって今、多分悩まれていたような。
0:52:08	雰囲気を感じましたので、第二部ではどういうモデルを使ってどういう条件で設計を進めるのかっていう、最初にその整理がまず来るべきで、その中に、
0:52:20	設計条件、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:22	反映するものとして第1部からられた知見とか何かはないかということで、なければならない、検討した結果ないというような説明があるかと思うんですが、そういった説明の流れがあるのではと。
0:52:33	そういったものを私はイメージして質問していましたので、まずはその第二部の前段の方にどういうモデルを使ってどういう設計条件で、
0:52:44	これ以降の設計を進めるのかという、再整理が必要ではないかなと思っています。事業者その必要はないという認識だったかというふうに思いますけれども、改めてその整理が必要で、
0:52:57	あろうということについての理解はいかがでしょうか。
0:53:02	九州電力の明石でございます。ご指摘の趣旨理解いたしました。我々として必要はないというような整理をした。
0:53:12	ものではございませんで、もう正直なところ申し上げると第1部でいろいろ整理したから後は結果織田第二部は結果を示すだけだけだよねというような頭になっちゃったというのが実態でございます。
0:53:25	おっしゃる通り第二部で結果を示すからには第1部出られたところも踏まえて、こういうモデルでこういう条件、そういう考え方でやるんだよってというのは頭でしっかり整理すべき。それはおっしゃる通りと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:36	<p>いうふうに認識いたしましたので、そこをしっかりと整理した上で改めてまとめたいと思います。以上でございます。末次三角です。はい。大体認識が同じになったような気がしましたので、</p>
0:53:51	<p>ちょっとその方向で説明ができるように準備の方、</p>
0:53:56	<p>お願いできればと思います。</p>
0:54:01	<p>ご説明してません。はい。</p>
0:54:04	<p>規制庁、五味です。今の話を聞いていてちょっと思ったんですけど、今耐震建物、</p>
0:54:11	<p>23 を、</p>
0:54:13	<p>作られてると思うんですけど。</p>
0:54:17	<p>共通シーズについてるのかな耐震は、要は計算書になるよう耐震計算書に載るようなものっていうものも、</p>
0:54:27	<p>今まで</p>
0:54:29	<p>1 回ぐらいは見てたような気がしていて、その辺の作成状況みたいのって教えてもらえますか。</p>
0:54:42	<p>はい。日本原燃原田です。実はですね計算書に相当するものでございますけれども、これまでの資料ですと別添 9 別添 10 を、</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:54	実はそれなり、それ僕ちょっと意識して作ったものでございます。
0:54:59	今回あれですね、構成見直しにあたっては、
0:55:05	まずこの計算書というものをしっかり、
0:55:09	どういう補正をするのかというのをイメージした上でしっかり、まず作るという作業をしました。
0:55:17	その上で、
0:55:19	この計算書を補足する。
0:55:22	ものは何だと、計算書に書いていないような項目は何だというのを洗い出した上で、
0:55:30	それぞれ編をまとめて行ってございますので、
0:55:35	今んところ、そういうふうな作業状況にあるという、
0:55:41	ことでございます。以上です。
0:55:45	はい。規制庁上出です。私もイメージで話をしてるんですが、先ほど岸野からの話で第1部と第二部。
0:55:55	の話で第二部の方との説明が抜けてるんじゃないのかっていうのは、私もそんな感じがして、特に

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:05	計算書っていう意味だと、さすがに第1部を書いてあることを計算書に全部書くわけではなくてほとんど第二部にあるような内容なんだと思うんですけど。
0:56:16	第二部が計算書だとすると、やっぱり先ほど岸野が言っていたようなことってというのが最初に語られるべきで、
0:56:24	全部第1部で整理しましたからと言われると、結局、計算書にし、
0:56:31	の形になったときにどうなっちゃうんだらうなって若干不安に思って。
0:56:36	このままいくと、何も説明がないままどんどん設計モデルありきの計算はどんどんどんどんと。
0:56:45	何か進むような感じがして、何か違和感があるなと思ってちょっと発言したところなんですけど。
0:56:55	ちょっとそういうところも踏まえて、どこで何を説明するべきかっていうところを考えてもらえればと思いました。ちょっと感想めいたところですけど以上です。
0:57:08	日本原燃原田です。そうですね。そうですね今日、気づいた最大のポイントの一つかと思いました。実はですね
0:57:20	計算書までの作った上で、最初2、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:25	補足説明として考えていたのは、地震応答解析設計モデルですね、設計モデルの妥当性保守性についてということで、いわゆる第1部に相当する内容。
0:57:37	これを麻痺1個のパッケージとして作っていたと。
0:57:43	ちょっと、実はそこで終わりかなというか、それであればですね計算書補足できるかなと考えていて、ところございまして。
0:57:55	そうすると、先ほど岸野さんがおっしゃってくださった、
0:58:00	あれですねられた教訓、一旦まとめて、次につなげるっていう部分がすっぽりと抜けてしまうなということがちょっと今気づいたところですので、
0:58:11	ちょっとあれですね
0:58:13	今後の作業にちょっと生かしてその辺抜けがないように、
0:58:17	しっかり
0:58:19	第1部の条件とか、教訓を踏まえて、計算はどういう条件でやるかっていうところを、ちゃんと書き出していく。
0:58:30	そういったことをやっていきたいと思います。以上です。
0:58:35	あと、規制庁カミデです今後の整理かもしれないんですけど。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:41	申請書の添付書類 2、
0:58:46	耐震計算書、耐震計算のところ当然、地震応答解析、耐震計算の話は当然載ってくるんだと思うんですけど、その設計モデルの妥当性っていうところは、
0:58:59	申請書類でどこまで説明して、補足説明でどこまで説明する、何かその辺の役割分担とかって、何か考えたりしてますか。
0:59:12	はい。日本原燃原田です。分担はですね、やっぱり計算書わ一簡単な計算条件とか結果を整理する。
0:59:23	感じかなということで、まず整理しまして、
0:59:28	先ほどのモデル等組むとか本当に妥当なんですか保守性あるんですかという点については、補足説明の方で説明。
0:59:38	すべきだろうということで整理してございます。
0:59:42	以上です。
0:59:45	はい。規制庁亀井です或いはその辺、整理をしっかりしたっていうことを、全件してもらうとともに、説明の際には、何か実用量例示だとかも入れて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:59	基本的に申請書の記載事項っていうか、こういうところだっていうこと。
1:00:05	ていうような説明も併せてあれば来やすいのかなと思いましたんで、ちょっと確認しておいていた。
1:00:15	はい。日本原燃はですね、ちょっとその辺もしっかり留意した上で、あと、もう、
1:00:21	くどいようですが、先ほどのあれですね、第1部から教訓を、は何なんだと、それをどうケースに生かしてみたというところもわかるように、まとめたいと思います。以上です。
1:00:36	はい、清長官です。
1:00:38	あとは、
1:00:41	23の作業ではないのかもしれないですけど、
1:00:46	基本方針2、
1:00:49	何かこう手当をする必要がないのかっていうところも、
1:00:53	念頭に入れて、基本方針を見てもらって、
1:00:58	基本方針でここまでうたっておかないと、ここ設計モデルが登場しちゃうと繋がりが持てないなみたいなこと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:06	ならないようですね、そういう目線でも確認をしておいていただければと。
1:01:14	開始日本原燃原田です。はい。おっしゃる通りだと認識してまして、やはり基本方針をもとに、
1:01:22	耐震評価というのも、ものは進んでいくわけですから。
1:01:26	基本方針に書いていないことは何か、
1:01:31	言われたためだということでちょっとそこも横目に眺めながらですね今作業を進めているところでございます。
1:01:38	ただちょっとやっぱりどこまで何を方針に書くかなというのは、悩ましいところがございますので、
1:01:45	ちょっとみんなで議論しながらですね、ちょっとあれですね、抜け漏れないように、資料をまとめていきたいと考えております。以上です。
1:01:58	はい、規制庁カミデですよろしく申し上げます。割り込んですみません。都築お願いし
1:02:04	はい。規制庁の岸野です。
1:02:06	その他、他としましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:10	また補足説明資料耐震建物 23 に戻ってしまうんですが、その資料全般についての認識の確認なんですけれども。
1:02:19	これまで一。
1:02:22	もうヒアリング等で何度か
1:02:25	質問していたようにですね、説明が度以上だけで終わっているような箇所ってというのが結構あるかと思えますけれども、それでいきますと事業者が説明したい趣旨が何なのか、或いは、
1:02:37	どうして、何に基づいてそうそこまでいえるんだらうっていうような疑問がどうしても残ってしまいますので、
1:02:43	事業者の分析考察の理解を容易にするためには、できるだけ具体的なエビデンスを用いた説明というものを心がけていただければと思っています。そういったことを念頭に置いて、今資料を準備しているというふう
1:03:02	に理解してよろしいでしょうか。
1:03:02	はい。日本原燃原田です。はい。はい。
1:03:05	まず、読んでですね何でこんなことがいえるんだらうと、というのがちょっと不明確な部分が結構ありましたので、そういったところは、文書直すとともにですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:17	しっかりエビデンスをつけた上で考察を書くというような作業を現在行っているところでございますので、衛藤わかりやすく資料をまとめていきたいと思います。以上です。
1:03:30	規制庁の石野です。はい。よろしく申し上げます。その際はですね、解析結果の中から代表的な1例だけ示して説明するんだと。
1:03:40	できるだけ止めないで、他の合意ですとか時刻や確認項目等でも同じような傾向が、
1:03:46	なるのか、或いは違う場合はどうしてそうなるのかといったことにも踏み込んだ方がですね、より幅広に確認した結果となって、説明の信頼性が増すのかなというふうに思いますし、
1:03:57	分析考察もですね、推測だけで終わらないであらゆる角度から検証して、その推測の確からしさの説明に努めることですね。信頼性といいますが説得力を増すような、
1:04:10	ことを念頭に置いてですね、引き続き資料の準備をお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。
1:04:19	はい福住ハラダですはい。ありがとうございます。しっかりそういうのを念頭にですね、まとめていきたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:27	以上です。
1:04:30	規制庁の岸野です。よろしくお願いします。私から以上。
1:04:40	規制庁の竹田ですが規制庁側から確認等ございましたらお願いします。
1:04:46	規制庁ハバサキですね。
1:04:48	まずちょっと確認ですけれども、
1:04:51	検証用モデルの解析をされているんですが、結局、検証用モデルでは、
1:05:00	どういうケースを解析されたのかその前、13%、全応力有効率、すべてのケース基本ケースに関してはすべて解析がされてるんでしょうか。ちょっとその、
1:05:12	検証モデルの解析状況について。
1:05:15	教えていただきたいんですが。
1:05:18	はい。日本原燃原田です。えっとですね、いわゆる設計モデルを組む上で、妥当性とか保守性、
1:05:26	検討をなってますけど、その時、13%で行ったりあと大丈夫絞ったりして行っているんですが、そういったところを、
1:05:37	検証モデルでですね、同じ条件でやっているというのがお答えになります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:43	ですからちょっと内容によってはちょっと変わってきますね。13までやっぱり代表かけたりと、私それは設計モデルと同じ条件でやると。
1:05:53	それで比較すると、そういったふうな整理をしています。以上です。
1:05:57	はい。規制庁浜崎です大体理解できましたんで、最初に説明された2枚ものの資料を見てもですね。
1:06:08	やはりまだ検証用モデルの説明っていいですかメインは当然設計モデルなんですけども、その設計モデルの妥当性保守性を、
1:06:19	確認する上ではこの検証用モデルをどう位置づけるかっていうのが非常に有効っていいですか、重要だというふうに考えます。これは介護でも、
1:06:29	指摘してるというふうに認識しております。で、
1:06:33	前回の会合資料にしましても現状の23番の補足説明にしてもですね。
1:06:40	例えば杭なんかは、継承モデルと設計モデルの比較のような形ですね、非常にわかりやすい、設計用モデルの結果っていうのは妥当だという、保守的だと。
1:06:52	ということがわかるんですが、ある意味せっきある検証モデルの結果ならばですね、その設計モデルを妥当で保守的だということを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:04	説明する資料として、目いっぱいいろいろな情報をですね説明を追加してもらえ、することが良いんじゃないかというふうに考えてます。
1:07:15	先ほど言ったように0にしても
1:07:20	介護資料或いは23番。
1:07:22	もう少し減少モデル設計モデルに対しての検証ということの位置付けで、
1:07:30	それが設計モデルをどう補強してるんだということがわかるようなですね、情報提供してもらえ。
1:07:37	すればいいかなというふうに考えます。これも開門でも言いましたけれどもですね1月の会合でも言いましたけども、
1:07:45	例えば深津増による評価っていうのが第二部の方で出てまして、これこれの値だけ出てるんですけども。
1:07:52	これ決定要素はどの部分で、それは設計モデルと。
1:07:58	検証モデルでは同じなのか違うな。違うのかですね。
1:08:04	その条件を含めてですね、説明されれば、より、この、
1:08:10	評価の設計モデルによる評価が、適切といいますかですね妥当だということ、説明を補強できるというふうに考えています。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:21	そういう意味で結晶モデルの説明をもう少し充実を。
1:08:28	考えた方が、記載の適正化といいますか充実という意味では有効というふうに考えますが。
1:08:35	現状は、あまりその予定してないんでしょうか。その辺りいかがでしょう。
1:08:43	はい。日本原燃原田です。えっとですね我々、いろんな
1:08:50	確認をやってきて、
1:08:52	おりましたですね、今まで、
1:08:56	これ補足説明資料に書いてきたつもりではあったんですけども、結構ごちゃごちゃしてですね、何をどう整理したかというのがわからない状態。
1:09:06	ですので、まず一旦整理してます。そうすると実は検証モデル。
1:09:14	やっていないような評価っていうのが、整理の結果浮き彫りになってきましたので、そこは今回、説明を補強すると。
1:09:24	いう意味で、検証用モデルでもやってみてですね、結果は変わらなかったねというところをまさに確認している最中でございます。
1:09:34	そういった意味で結構

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:37	わかりやすい補足説明資料になるとその辺も非常に
1:09:42	ご理解するんじゃないかなと考えています。そんな感じで検証モデルをフル活用してですね、検討を進めておりますので、
1:09:52	うまく整理したいと思います。以上です。
1:09:58	はい。規制庁浜崎です。いろいろ原田さんのご説明理解しましたまさにそこら辺がですね重要なポイントで、にもなるというふうに考えてますので、
1:10:11	23番の方で多分それ反映されると思いますのでですね、その記載の充実の方お願いしたいと思います。
1:10:19	どこまで検証モデルの結果を出すかっていいますか説明するかっていうのがあります。確かに例えば、上部架構の最大値分布を比較するだとかですねその必要があるのかないのかとかですね。
1:10:34	或いは先ほども言った地盤のひずみとか応力グーを同じ条件で、両者違うのかどうか。
1:10:42	とかですねそういった観点を、どこまで説明するかっていうのは23番も出てきてから、こちらからコメントありとしたいと思います。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:50	要は、検証モデルっていうのはある意味、 a s - i s の状態ですと、局所的な応力だとか、挙動というものが、より見やすい状況になるのですね。
1:11:03	設計モデルではそこら辺を設計という観点で、
1:11:09	報告しているわけですからそれが妥当なのかどうかっていうような判断もできますのですね。
1:11:15	ぜひその 23 番の方でですね、説明の充実の方をお願いしたいと思います。
1:11:21	対応の方よろしいでしょうか。
1:11:25	はい。二本木野原です。はい。検証モデルですね、そういった考察、検証モデルを使った考察を深めてわかりやすいように、
1:11:37	資料まとめたいと思いますので、よろしく願いいたします。
1:11:42	はい。規制庁浜崎です。私から以上です。
1:11:47	規制庁竹田です。学生町側から確認がありましたらお願いします。
1:12:00	他よろしいでしょうか。
1:12:03	よろしければ、規制庁側からの声を踏まえまして、採用してください。 すいません。九州電力の明石でございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:14	先ほどの浜崎さんとのやりとりで1点だけちょっと確認させてください。先ほど原田の方から回答申し上げました通り、検証モデルを用いてまさに目いっぱい用いている確認は進めるんですが、
1:12:29	ハバサキさん意図されたところは、要は、第1部数名で設計モデルの妥当性について確認してるところで、検証モデルの結果も駆使すると。
1:12:40	いうことを意図されてたんですが、第二部真田評価結果の方で、検証モデルを駆使するということを意図されてたのか、ふと考えると、どっちなのってのはちょっと疑問に思ってしまったんですけどその辺。
1:12:54	田沢ハバサキさんの御感触を伺いできるとありがたいんですけども、よろしく願いいたします。はい。井関浜崎です。その質問は予想してましてですね当然これ第1部の設計モデルの妥当性のところで必要な話です。
1:13:09	ただ、先ほど言ったようにですね介護資料のすべてのところに出てるような話、これ第二部の話ですので、これをあえて第1部でやる必要があるのかな、第二部であってもですね、検証モデルとの比較みたいのあっても、
1:13:24	これは悪くないと思います。そこ、フレキシブルに考えていただけないかなというふうに私自身は思いますが。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:35	<p>どうでしょうか。はい。はい。九州電力の明石でございます。まず我々も研修モデルを文々使って確認するところこれはもう第1部がメインであると。</p>
1:13:46	<p>いうところは認識しておりましたところですので、そこがそぐわないということは確認できてよかったかなと思います。第二部の方でちょっと研修モデルを必要に応じてどう使うか確かに。</p>
1:13:59	<p>第二部で使うもんじゃないんだと、決めてかかる必要はないとは思いますが、でもどうどっかでどう使うかというところを今実は具体的にぽっといえるところがないのが正直なところなんですけども。</p>
1:14:10	<p>そこはちょっと否定せずに、今後のまとめの中で、こういう部分があるなというところが浮上してきましたらそこは、</p>
1:14:18	<p>付け加えたいと思います。すいませんちょっと中途半端な上級状況ですけども以上の通りでございます。</p>
1:14:24	<p>規制庁ハバサキですが私の方からどこまで良いかっていうのあるんですけども、例えば先ほど話の滑りの話でしたら、第二部で評価しているつमりの話でしたら、設計モデルと検証用モデルの。</p>
1:14:37	<p>地盤のM A C C S 基礎したのですね。</p>

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:42	要素の地盤の要素のせん断、応力、その傾向が同じなのか、或いはその定量的にも同じなのかどうか、それを第一部で、
1:14:54	やっていただければ、これ第二部に繋がる話ですし、それは、第二部で同じことをやっていただいても、それは構わないという、そういう私の考えですが。
1:15:08	いかがでしょうか。
1:15:11	はい九州電力の明石でございます。今例えば例示いただきましたポイントとともに、第一部であっても第二部であってもすでに確認を取るところ。
1:15:24	まさに結果を見ながらのところでもございますので第1部でも、第二部でもいいのではないかと趣旨は理解いたしました。あとはちょっと話の流れの中で、どこに置くのがいいのかというのは耐震建物ニジュウサンまとめながら、
1:15:38	そこはちょっと我々の方で検討したいと思いますので、ちょっとその結果、ちょっと反映するところが大丈夫かもしれないし、第二部、第二部かもしれないと。
1:15:49	ということでちょっとご理解いただければと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:52	はい。規制庁浜崎です。はいそのご理解で結構です。地盤の応力なりひずみの話でしたら第1部で比較して第二部で結果が出るってそれは第1部でや。
1:16:05	行っている検証モデルからも、その設計モデルの値っていうのは妥当であるということ、あと加古引いてくれば紐付けすればいい話ですので、
1:16:15	それはいかようにでもといたしますかですね、考え方としては、第1部じゃないといけない、或いは二部じゃないといけないっていうものではないというふうに思ってますので。
1:16:26	検討の方お願いしたいと思います。以上です。
1:16:30	はい九州電力の明石でございます。ありがとうございます。承知いたしました。
1:16:36	規制庁上手です。
1:16:39	今の話、第1部でも第二部でもフレキシブルにという話もありましたけど先ほど話をしたように、申請書にどこまで書くかっていう問題もありますし、
1:16:51	あとは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:53	そもそも何で設計モデルを採用したんだっていうところの目的とか、そういうところから、きちんと整理をして、この説明は、このパートでみたいな話を、
1:17:08	きちんと事業者の方からしてもらって、双方認識を合わせられるように、きちんと整理をした状態でお互い話ができればいいんじゃないかなと思いましたので、
1:17:22	今の段階で、結論を出すというものではないですけど、きちんと全体。
1:17:29	俯瞰して、お互いとらえた上で、話ができればと思いますのでよろしくお願いします。
1:17:38	季節ハバサキですけれども今カミデからの話もあったんですと。
1:17:42	手話メインはやはり設計モデルであって、中は、研修モデル、この維持1 図形は変わらないかなというふうに考えますそこら辺事業者等を判断するかなんですけども、多分そうなると思いますので、
1:17:56	それを踏まえて、基本方針での位置付け等々ですね、整理してもらえればというふうに思います。以上です。
1:18:15	はい。九州電力何ヶ所ございすいませんちょっと変えて申し訳ございません今、カミデさんからのお話がハバサキさんからの話理解いたしまし

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>た。神谷さん全体俯瞰をしてって言われたところおっしゃる通りだと思 いますので、</p>
1:18:29	<p>全体の構成を念頭に置いてどこに何が入るべきかということをちゃんと 整理した上で、改めてご説明ができればと思います。以上でございま す。</p>
1:18:50	<p>規制庁の竹田です。その他、確認等ございますでしょうか。</p>
1:18:57	<p>よろしいでしょうか。それでは、これまでのニーズ確認踏まえまして、 対応方針を原燃の方から説明をお願いします。</p>
1:19:07	<p>はい。日本でハラダです。まずですね本日のヒアリングを通じて非開示 情報の発話はありませんでした。</p>
1:19:16	<p>今後の作業方針でございますけれども、主な点としましては、まず 28 建物 23、補足説明資料。</p>
1:19:26	<p>こちらドラスティックに変えますので、少し対比がわかるようにです ね、値表をわかりやすくっていうふうにしたいと思います。</p>
1:19:35	<p>それから等、あれですね、第一部でられた教訓とか、注意点、たくさん ございますので、これをどういうふうに第二部っていうか、経産省の方 になっちゃうんですけれども。</p>

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:48	そこに生かしてるかというところは
1:19:53	きちっと整理してですね。
1:19:55	お示しするということをいたします。
1:19:59	それから等々妥当性として、いろんな考え方とか、
1:20:05	考察述べてますけど。
1:20:07	エビデンスがついてなかったりする箇所もございますので、そういったところはきちんと
1:20:14	言ってる内容と、なぜそうなるかというのがわかるようにですね、エビデンスをつけた上で説明すると。
1:20:20	いったところを留意したいと思います。
1:20:24	それから、できるだけ、あれですね最後の議論にありました通り警鐘も出てせっかく作りましたんで、できるだけそれを活用して、設計モデルが妥当なんですよと。
1:20:36	いうところを、もうちょっと考察を深めるといったところをしていきたいと思います。
1:20:42	大きいところはそんなところかと思います。以上です。
1:20:52	規制庁の竹田です。ありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:56	それでは本日のヒアリングのメニューとしては以上になると思いますが、
1:21:02	規制庁側から何か確認等がございますでしょうか。
1:21:08	長規制庁ツガネです。資料の提出時期については、3月15というのは変わらないということでよろしいですか。
1:21:18	はい。日本原燃熱田です。はい。
1:21:23	できるだけ前倒し。
1:21:26	入れさしていくとは思っていますけれども今のところはい、25でお願いいたします。
1:21:33	規制庁津金です。本日も幾つかこちらから確認した点も反映した形で出させていただきますので、よろしくお願いいたします。以上です。
1:21:49	規制庁だけです。それが規制庁側からよろしいでしょうか。
1:21:55	原燃の方から何か連絡等がございますでしょうか。
1:21:59	はい。こちら日本原燃ですが、特にございません。
1:22:04	はい、わかりました。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
1:22:11	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:13	川下和気様です。
---------	----------

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。